

大文工連が中国、台湾同業団体と懇談会

一般社団法人大阪文具工業連盟(西村貞一理事長)は、9月24日に中国の寧波文具行業協会(許觀良理事長)、翌25日には台湾の台湾区教育用品工業同業公会(王挺立理事長)と相次ぎ懇談会を開催し、中国、台湾の文具メーカー団体との懇親を深めた。

両団体は、大阪・関西万博の見学を兼ねて来阪、寧波文具行業協会(一行22人)はサクラクレパス工場、台湾区教育用品工業同業公会(一行18人)はオルファ本社をそれぞれ表敬訪問している。

寧波文具行業協会

21年振りの懇談会

9月24日の寧波文具行業協会との懇談会は、大阪市月5日に大阪・土佐堀のセブンイレブンクラブでの懇談会以来21年振り。

当日は、名刺交換の後、大阪文工連・西村理事長、理事の司会で進め、西村、許両理事長の挨拶のあと、両組合の出席者の紹介があり、大阪文工連・梶田安彦副理事長より文紙メッセを中心にした組合活動内容を紹介。



大文工連・西村理事長は、寧波文具行業協会から

は、寧波の産業概況や文具産業の特長が説明された。寧波は、「中国文具の都」といわれ、港灣と地理的優位性を背景に発展、国内はもとより世界における重要な文具製造拠点及び輸出拠点となっている。

業界全体の工業総生産額は、600億元超で、前年同期比で10%以上の増加。製品販売収入は700億元超で、前年同期比7%以上の増加。輸出額は300億元超で、前年同期比15%以上の増加。



寧波文具行業協会一行との記念撮影

この他、2006年にアジア太平洋文具協会連盟が設立され、東南アジア22団体が加盟し、文具商品の取引円滑化を図っており、この機会に日本の文具企業と寧波文具業界との新たな関係が築ければと思っている、とした。

このあと、質疑応答を行い、中国側からは「部品調達はこの様にしているのか」、「文紙メッセには海外企業は出展できるか」など活発な質問が寄せられ、予定時間を約1時間近く超える活発な懇談会となった。

台湾区教育用品工業 68年振りに来阪果たす

台湾区教育用品工業同業公会(略称TASI)との懇談会は、9月25日午後4時から大阪・天満橋の大



大阪文工連・西村理事長と台湾教育用品工業会・王挺立理事長

阪キャッスルホテルで開催した。

名刺交換の後、大阪文工連・橋本専務理事の司会で進め、参加者紹介のあと、西村理事長が「台湾から1957年に来阪以来、実に68年振りの懇談会となる。ただ、大阪文工連からは1975年、1987年、2006年、2015年にそれぞれ来訪し、業界視察や台北国際ギフト・文具見本市見学、貴組合との懇談会などを行うなど、長い繋がりがあつた。本日は有意義な懇談会、楽しい懇親会になることを願いたい」と挨拶。

続いて王理事長がこのよう盛大な懇談会の場を設けてもらい感謝する。今後とも両組合の友情と協力を望みたい」と挨拶。

まず、大阪文工連・梶田副理事長より同組合の沿革と文紙メッセを中心とした組合運営の現状を紹介。TASIからは、1956年に設立、台湾の文具・教育用品産業を代表する重要な団体で、①会員交流と協力を促進②国際市場の開拓③会員の権益擁護④インベシジョンと人材育成の推進を目的に活動。台北文具展、日本ISOOT、欧州・ペーパーワールドなど国際展示会や交流活動に積極的に参加。

台湾の文具製品の40%以上が米国への輸出で、次いで、



台湾区教育用品工業同業公会一行との記念撮影

教育美術佐武賞 第60回贈賞式

サクラクレパス

公益財団法人教育美術振興会(西村貞一理事長)は、8月20日、東京都台東区のサクラ東京ビル6階社長室で、美術教育に関する優れた実践報告や研究論文を発表する「第60回教育美術・佐武賞」の贈賞式を行った。

「教育美術・佐武賞」は、クレパスを世界で初めて開発した、サクラクレパス創業者の佐武林蔵氏の寄付により1966年に設立された賞で、現場の先生の実践に光をあてることにより、子供と共に学びあつた優れた授業を、指導者の育成と、図画工作・美術科教育の発展に資することを目的としている。

なお、今年度より「奨励賞」が新設された。

黒田生々堂が 奨励賞を受賞

日経ニューオフィス賞 日本経済新聞社と一般社団法人ニューオフィス推進協会(NOPA)主催の第38回日経ニューオフィス賞の表彰式は、9月25日に大阪市中央区の日本経済新聞社で開催した。

「日経ニューオフィス賞」は、快適かつ機能的で、創意と工夫をこらした優れたオフィス空間の普及と促進を目的に表彰を行っている。



授賞式での記念撮影

このあと、質疑応答を行い、中国側からは「部品調達はこの様にしているのか」、「文紙メッセには海外企業は出展できるか」など活発な質問が寄せられ、予定時間を約1時間近く超える活発な懇談会となった。

大人のやる気ペン

累計販売数7万台を突破



コクヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)の努力で、資格試験の学習や見える化することで、大人の学習習慣化をサポートする「IOT文具」大人のやる気ペン」が、2025年8月に販売数7万台を突破し、累計販売数7万台の突破となった。

「人生100年時代」を迎え、生涯を通じての学習が必要となる中、大人の学びへの関心が高まりを見せ始めている。2019年に発売した好評を博した小学生向け「IOT文具」IOT文具「しゅくだいやる気ペン」のコンセプト

を働く大人向けに拡張する邦社長、大阪市の)の努力で、資格試験の学習や見える化することで、大人の学習習慣化をサポートする「IOT文具」大人のやる気ペン」を開発した。

「人生100年時代」を迎え、生涯を通じての学習が必要となる中、大人の学びへの関心が高まりを見せ始めている。2019年に発売した好評を博した小学生向け「IOT文具」IOT文具「しゅくだいやる気ペン」のコンセプト

を働く大人向けに拡張する邦社長、大阪市の)の努力で、資格試験の学習や見える化することで、大人の学習習慣化をサポートする「IOT文具」大人のやる気ペン」を開発した。

「人生100年時代」を迎え、生涯を通じての学習が必要となる中、大人の学びへの関心が高まりを見せ始めている。2019年に発売した好評を博した小学生向け「IOT文具」IOT文具「しゅくだいやる気ペン」のコンセプト

万博ヘルスケアパビリオンに出展

○セキセイ○



セキセイ・西川会長夫妻

セキセイ株式会社(西川智也社長、大阪市)は、9月30日〜10月6日まで、大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンに同社製品を出品した。

会場では、輪島塗ボールペン「雅風」万博迎賓館採用の新柄「達磨」と大阪城と「龍」ヤシの実インク「バームヤシの実オイル」を採用したバイオマスの世界

初インク」の実物を展示した。

雅風ボールペンは、来場者に輪島塗の特色である漆黒の深い黒や繊細な時絵の表現を、実際に確かめてもらうとともに、CO2の削減や廃棄インクの再利用といった環境に配慮したサステナブルインク(ヤシの実インク)の特性をアピールし、書くという行為が幸福や長寿につながることをパネルなどで来場者に伝えた。



26人が参加してゴルフ大会

大阪文工連・西村理事長は、大阪本社オフィス「MEEL ANGER(メランジェ)」が、「近畿ニューオフィス奨励賞」を受賞した。

①川部郁夫(PLUSジョイントテックスカンパニー)②篠原立樹(大阪文具事務用品協同組合)③西山智樹(ゼアラ)

昭和30年代の筆記具を展示

株式会社パイロットコーポレーション(藤崎文男社長、東京都)は、来年1月30日まで、本社1階エントランスギャラリーで、「昭和30年代の筆記具展」を開催している。

小型ペンシルや、世界初のキャップのない万年筆「キャップレス万年筆」など様々な筆記具を展示。